

車側カメラへの清掃器具の開発

背景と目的

車載ホームモニタシステムを採用したワンマン運転では、車両の側面に取り付けられたカメラ(車側カメラ)で撮影したホームの映像を運転士がモニターで確認している。運転士はモニターでお客さまの乗り降りを確認しながらドアの開け閉めを行う。車側カメラに汚れが付いてしまうと映像が不鮮明となりホームの様子を確認することが困難になるおそれがある。運転士が安心してお客さまの乗り降りを確認できるよう、車側カメラに対する専用の清掃器具を開発することとした。



車側カメラ



モニター

1カメラにつき1両分の映像

開発前の問題点

車側カメラはホームより約220cmの位置にあるため身長が低いと清掃したくても届かないおそれがある。

また、汚れの頻度は多くないため、緊急時に手間取ることのないような清掃器具を開発したい。



写真の女性は身長158cm。背が低いと届かない。

開発してよかった点

清掃器具「ComeFuku」を開発し、これを用いることで全乗務員が車側カメラを清掃できるようになり、汚れに対する不安が解消された。

身長145cmの乗務員でも清掃することが可能になった。(カメラを拭くという動作からComeFukuと名称しました。)



開発したもの

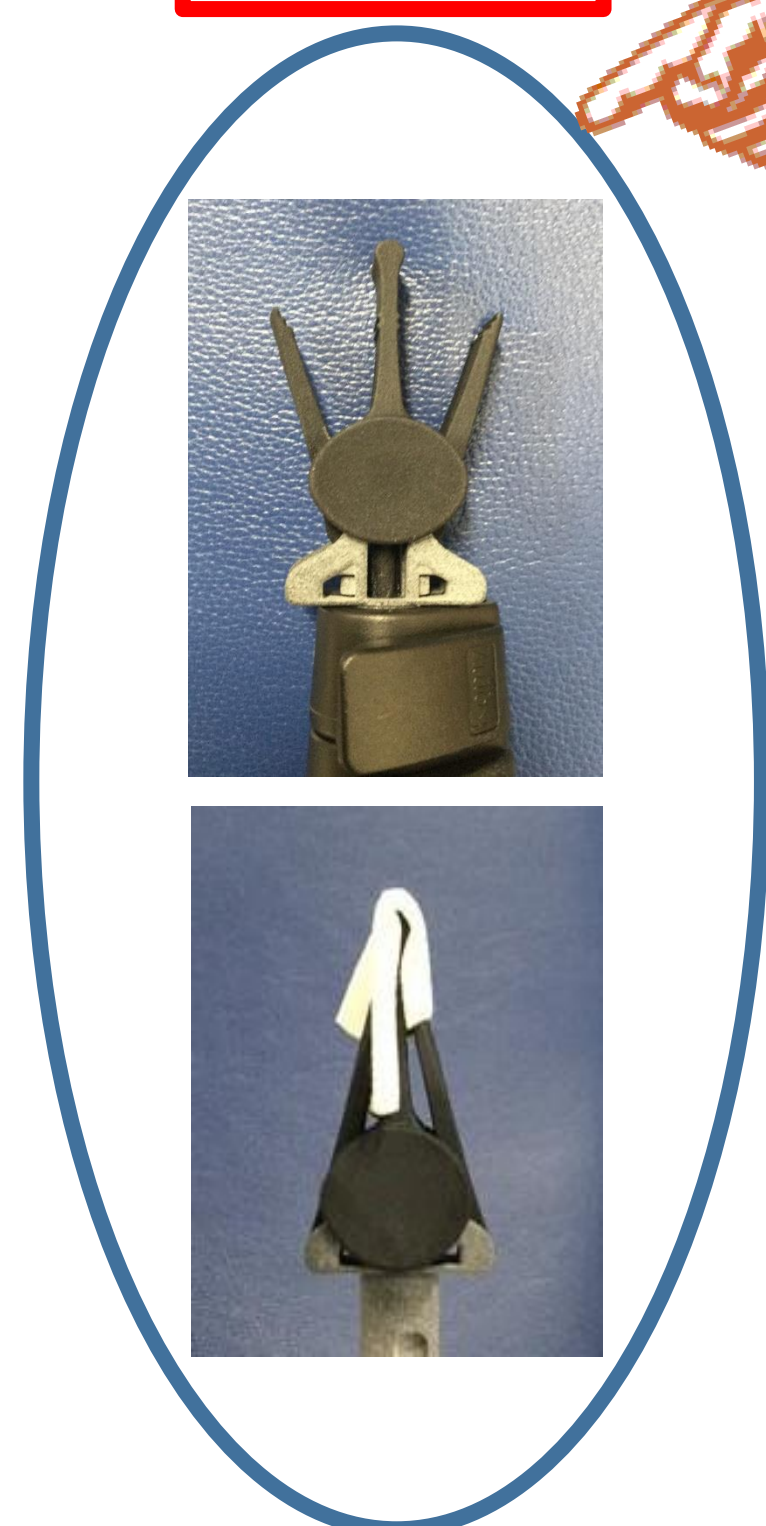
本体 長さは22cm～45cmです！

長さが3段階に変わる！

乗務員用カバンで携帯可能！！



先端部分



ここがポイント！

この開閉機構(バネを使わずに挟んだシートが全くズレない)について特許を出願した！

当区で使用している清掃用シート



清掃した後のシートの汚れ

運転台からスタートしてカメラを拭いて運転台に戻るまで約2分、指令との連絡を考慮して約3分で運転を再開できる。



清掃前



清掃後

使用した運転士より汚れが落ち、映像がきれいになったとの声あり！

製品化！

1つ3万円で購入可能
(20個単位が基本)

導入済！

4支社へ展開しました。
すでに購入した支社もあります